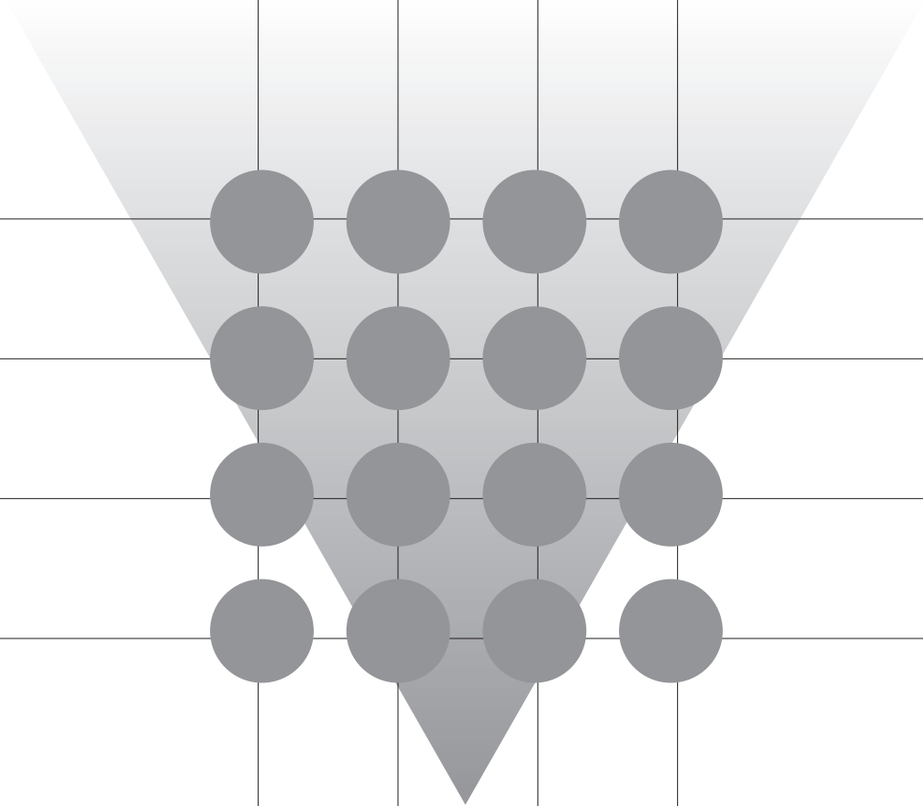
フレクト

EXONET®

エクソネット

施 工 資 料



GADELIUS

日本総代理店
販売・保証

GADELIUS

ガデリウス株式会社

材料事業本部 建築材料部

〒107-8302 東京都港区赤坂5-2-39 円通寺ガデリウスビル
TEL.03-3224-3421　FAX.03-3224-3434
〒065-0024 札幌市東区北24条東15-4-10 第二日弘ビル
TEL.011-743-7710　FAX.011-743-7721
〒651-0086 神戸市中央区磯上通6-1-9 神戸MKビル
TEL.078-261-1964　FAX.078-261-1960
〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-17-13 NK丸の内ビル
TEL.052-211-5129　FAX.052-211-5144
〒810-0013 福岡市中央区大宮1-4-34 五常物産ビル
TEL.092-522-2883　FAX.092-522-2895

http://livingscandinavia.com
リビングスカンジナビア.コム

08.06.01.W

環境に配慮した再生紙を使用しています

目　次

仕　様

1．組上り図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2．寸法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3．主要緒元 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

施　工

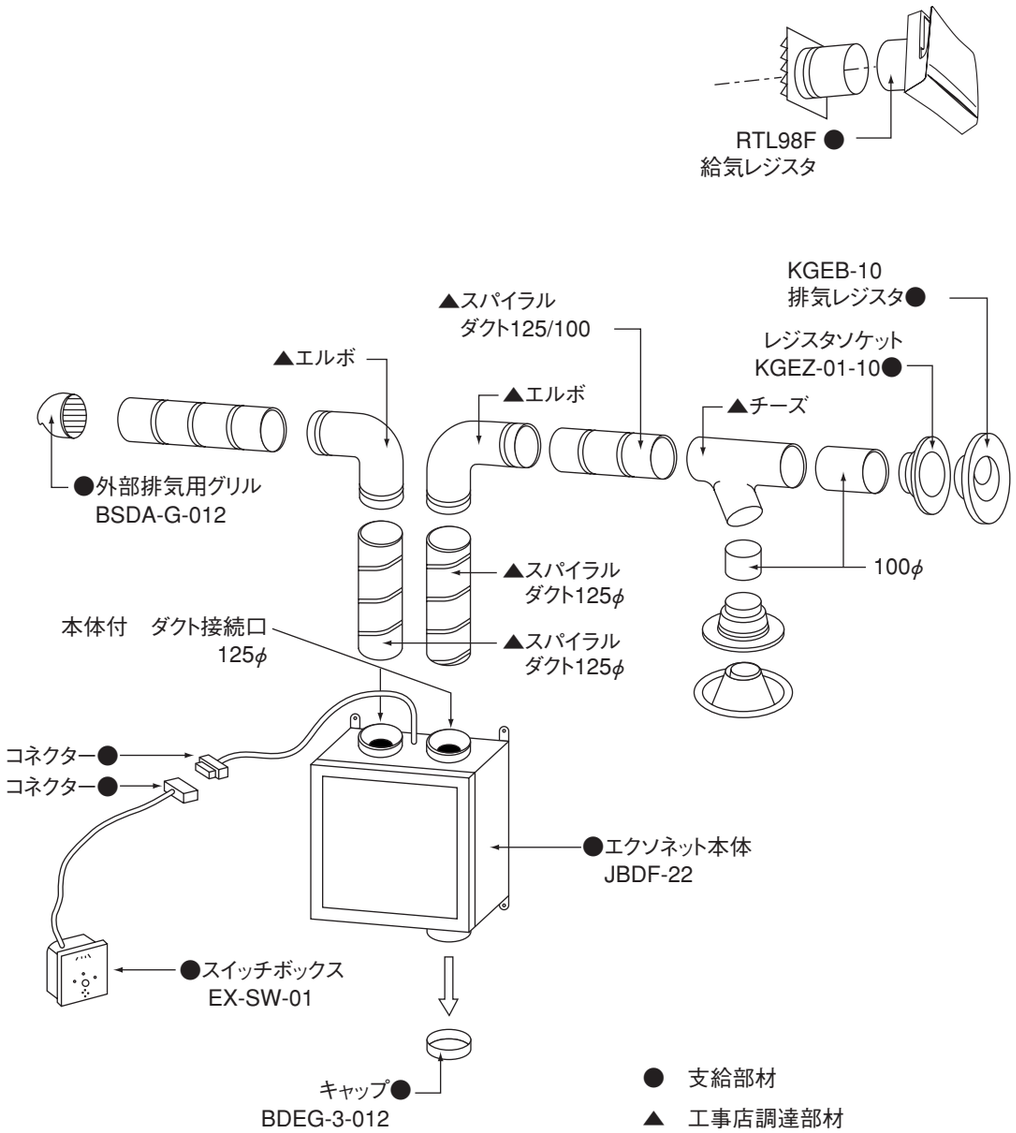
1．施工の流れ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2．ダクト工事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～6
3．本体の据付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7～8
4．レジスタ用ソケット工事 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
5．コントロールスイッチの取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
6．排気レジスタの取り付け（レジスタ調整） ・・・・・・・・・・・ 11
7．給気レジスタの取り付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
8．コントロールスイッチの結線 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

調整・テスト運転

1．レジスタの調整 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
2．お取り扱い方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
3．テスト運転 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

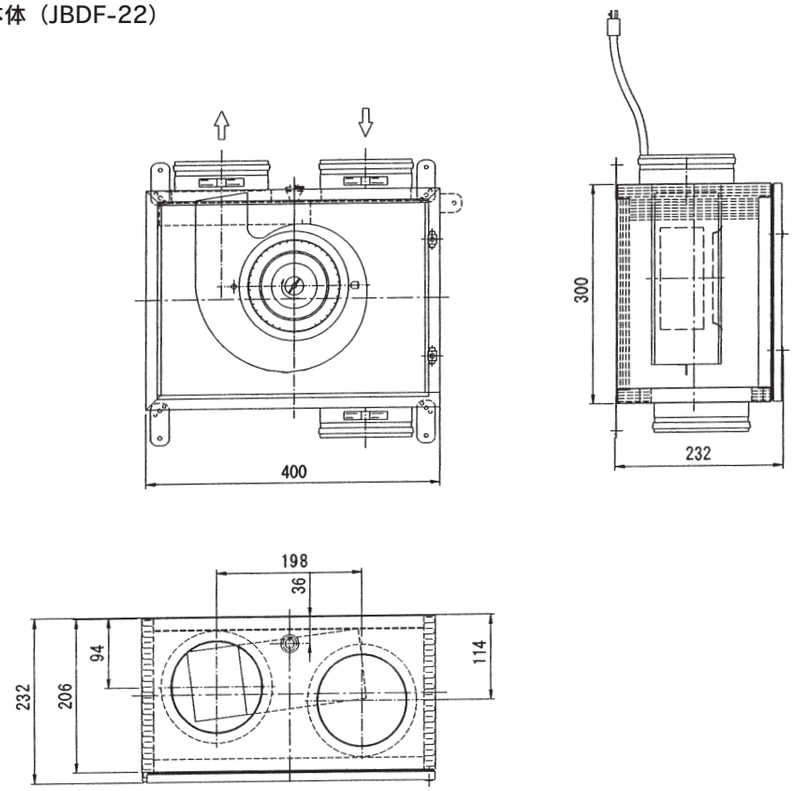
1．組上り図

電源配線は、単相200～220V／50・60Hzで、専用ブレーカーに接続して下さい。



2．寸法

エクソネット本体（JBDF-22）



3．主要緒元

形　　式	JBDF-22
対象延べ面積	160m²未満
重　　量	8kg
ファンモーター定格	100W（通常運転時 35W）
電　　源	単相200～220V／50・60Hz
アース	要
ドレイン配管	不要

※型式認可番号 〒91-51873

1．施工の流れ

通常の場合、施工順序は下記の流れになります。

1．設計図に従い、ダクト配管を行う。(保温工事共) ……施工-2
2．本体の据付 ……施工-3
3．レジスタ用ソケットの取付 ……施工-4
4．コントロールスイッチの取付 ……施工-5
5．レジスタの取付（レジスタ調整）……施工-6
6．コントロールスイッチの結線 ……施工-7
7．レジスタ調整 ……調整・テスト運転-1
8．給気レジスタの取付 ……調整・テスト運転-2
9．テスト運転 ……調整・テスト運転-3

2．ダクト工事

●ダクトの切断

ダクトをそれぞれの長さに切断します。
ダクトはスパイラルダクト又はVU管を使用して下さい。
切断には図のような電動グラインダ、もしくはハンドグラインダを、使用して切断して下さい。

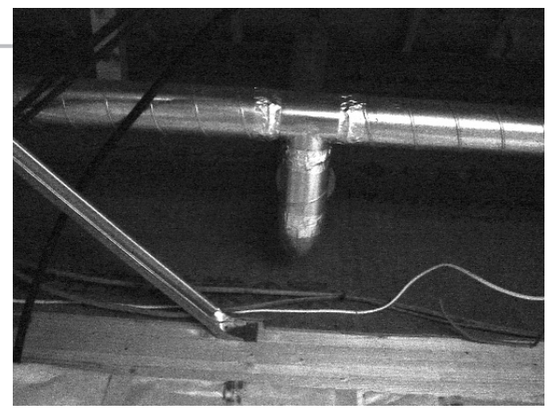
●ビス止め

ダクトと異形管を図のようにつなぎ合わせ、ビス止めして下さい。
まず片方の、のみ込み中心位のところに穴を開け、ビスで止めます。
その場所の反対側にもビス止めをし、2ヶ所ビス止めを行います。

●テーピング

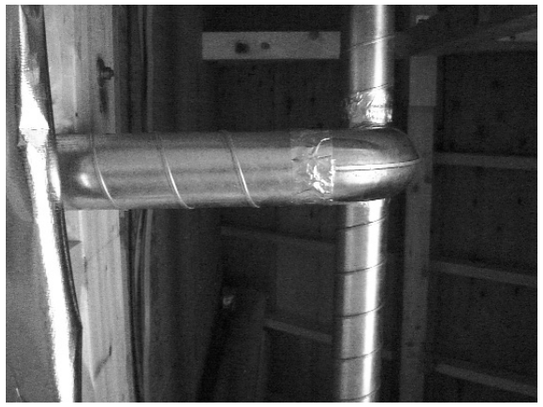
ビス止めを施したダクトのつなぎ目に、アルミテープを図のように貼って下さい。

※ダクトの接続工事は、本システムに於いて気密性を保つためにも、重要な工事となりますので、ビス止め・テーピング等慎重に行うよう注意して下さい。



●ダクトの接続

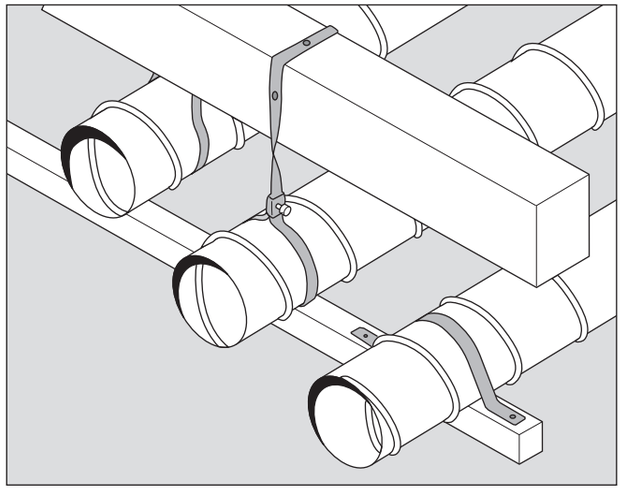
ダクトと異形管の接続には、できるだけ45°管、Y管を使用して下さい。



※他にもレジューサー・ソケットといった、異形管との接続があります。

●ダクトの固定

ダクトの固定には図のように、躯体や下地にバンドで固定するタイプや、吊りバンドを使い固定するタイプがあります。状況に応じて使い分けるようにして下さい。

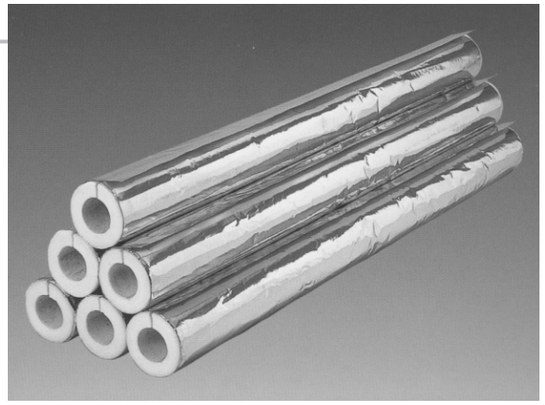


●ダクト断熱工事

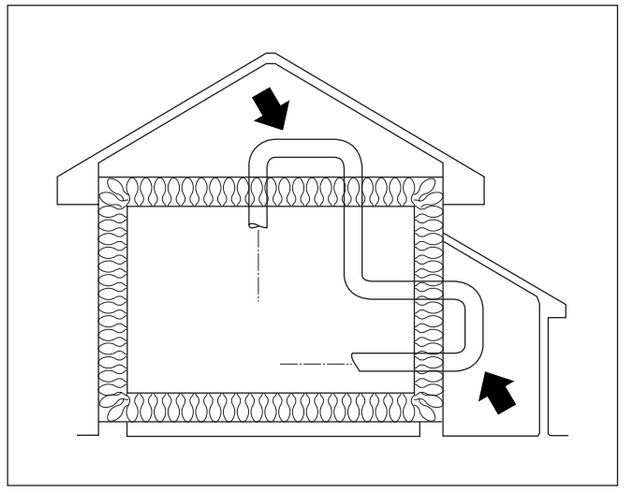
・断熱されてない場所に、ダクト工事を行う場合は、断熱工事が必ず伴います。断熱工事の必要な場所は、設計積算書でよく確認をして、施工して下さい。

・右図のように加工された断熱筒等を使い（GW 24kg/m³）断熱するダクトの長さにカットし、アルミテープで止めて下さい。

・本体からの排気管は、必ず断熱して下さい。



例：パラカバーALK（アルミクラフト貼り）



３．本体の据付

●本体周辺の納まり

本機は、洗面室、ボイラー室、ユーテリティー、小屋裏等、どの場所でも据付可能です。

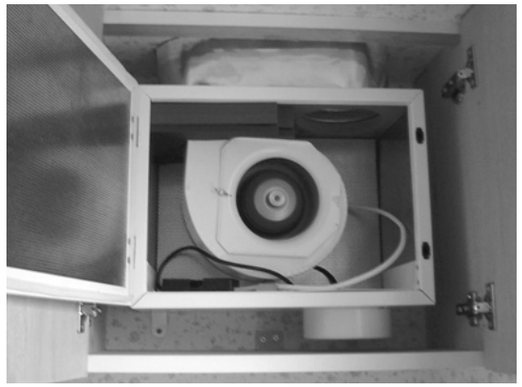
※点検時等、前面カバーの開閉が必要となりますので、本機上端及び下端から5cm以上スペースを確保して下さい。

※ダクトは、スパイラルダクト（肉厚0.5mm以上）又はVU管125φを使用して下さい。

※ダクト配管スペースを、確保して下さい。

※寝室に近い場所への据付は避けて下さい。

※スイッチは配線することにより、任意の位置に取付けることが出来ます。（延長コード8m以内）

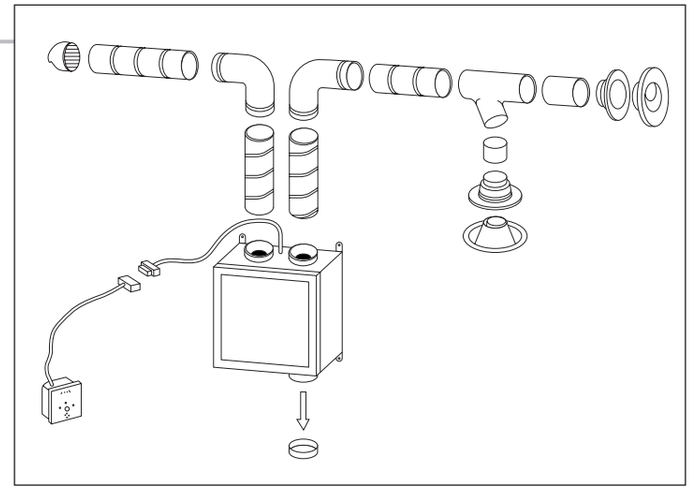


（写真は本体上部を断熱処理した施工例です）

●本体工事

①本機に付いている4ヶ所の金具でビス止めをします。

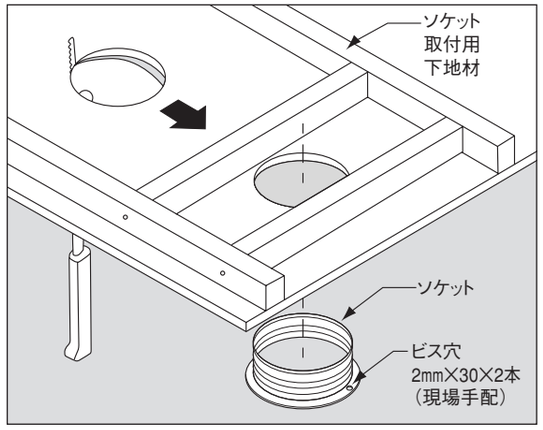
※壁面が強度的に弱い場合は、桟木等で補強を必ず施して下さい。



②本機周辺のダクト配管を行い、コントロールスイッチを本体より8m以内の適当な場所に、設置して下さい。

③本体は白塗装品ですが、必要に応じて化粧カバー等で覆って下さい。

4．レジスタ用ソケット工事



・レジスタの取付位置に、100mmの穴（レジスタは全て100φです。）を開け、レジスタソケットを差し込みビスで固定します。

・配管との位置関係を確認の上、精度良く穴開けして下さい。位置ズレは、本システムにおいて重要な気密性を損なう、一つの原因となります。

※レジスタ取付用ソケットは取付後、スプリングの効いたレジスタを抜き差しますので、脱落しないようにしっかりと固定して下さい。

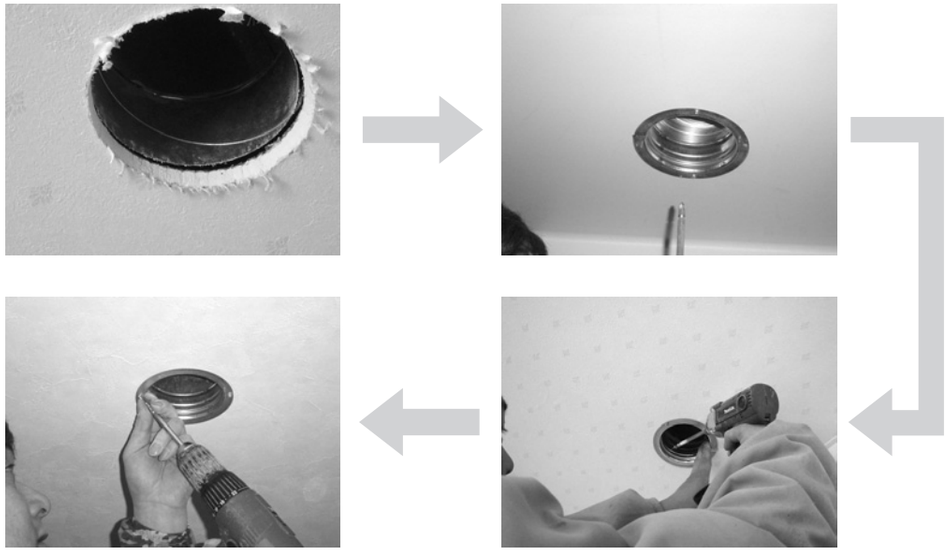
※天井ダクトが防湿シートを破る時は、パイプ用気密シートにダクトを通してから、ソケットを接続して下さい。この場合、パイプ用気密シートを防湿シートに充分テーピングして、気密性を保持して下さい。

・取付面がベニヤ板の場合は不要ですが、プラスターボードの場合は、下地補強が必要です。

・下地材が用意されていなかった場合、写真の様にダクトとソケットをビス止めする方法もあります。

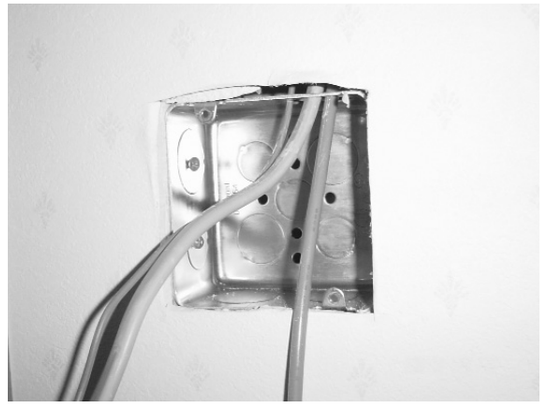
> ※レジスタソケットとダクトの接続は、全工事の中でも一番気密の保ちにくい場所ですので、ビス止め・テーピングを慎重に施すのみならず、必要に応じてコーキング等の対策も行って下さい。

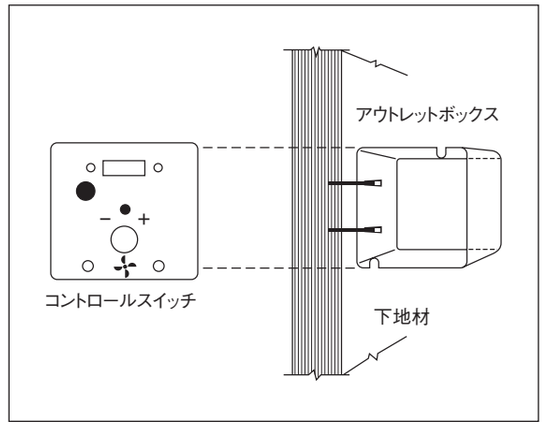
・レジスタを取付ける時、ビスの頭の部分とレジスタがぶつかり合い、隙間が生じて気密性を損なわない為にも、ビス止めの際は必ず皿もみをして下さい。

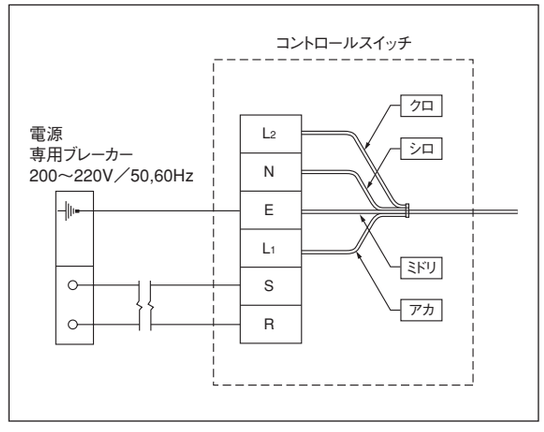


5．コントロールスイッチの取付

コントロールスイッチの取付位置は、設計図により提示されている場所に設置して下さい。
取付の高さは､床仕上面より1.2mを目安にして下さい。
コントロールスイッチに付属しているアウトレットボックスを、下地材に30×2mmビス2本で固定して下さい。







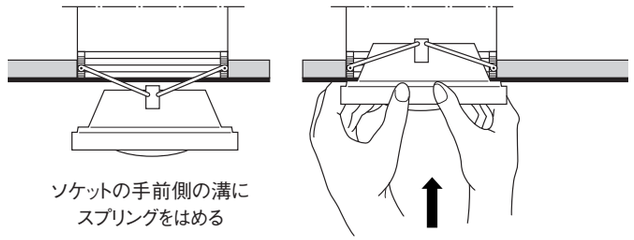
6．排気レジスタの取り付け（レジスタ調整）

●排気レジスタ（KGEB-10）の取付位置

排気レジスタの場合、基本的にはダクト配管想定図指定位置ですが、壁際・角寄りの場合、壁面から300～500mm位の距離を取って下さい。

●排気レジスタ（KGEB-10）

・レジスタの真ん中にある、円錐円盤状の形をした風量調節の為の可動部分を触れないように気をつけて、手でよく押さえ取付けます。



ソケットの手前側の溝にスプリングをはめる

レジスタを押し上げてソケットに固定する

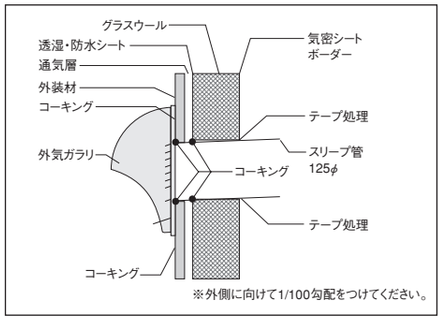
●外部排気グリルの取付位置

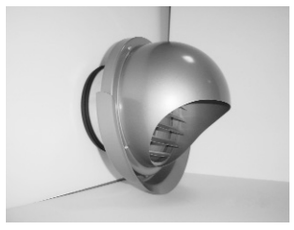
・外部グリルは、ダクト配管想定図指定位置において、取付け工事を行って下さい。（専用の外部グリルを使用して下さい）

・市販の外部グリルを使用する場合は、排気口125φ（アミなし）で低圧損タイプを調達し、使用して下さい。

取付時の注意事項

図の様に、配管取付時にコーキング処理を行う



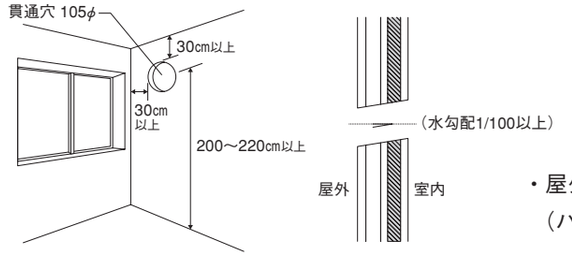


外部排気グリル（BSDA-G-012）

7．給気レジスタの取り付け

●給気レジスタの取り付け

1．取り付ける場所に105㎜径の穴を壁に開ける。

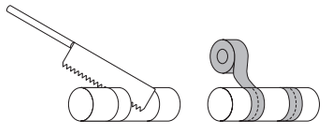


⚠注意　⊗禁止

❗天井には取り付けない。
落下により、けがをする恐れがあります。

・屋外下向きに水勾配を1/100以上設けてください。
（パイプを施工した状態で確保してください）

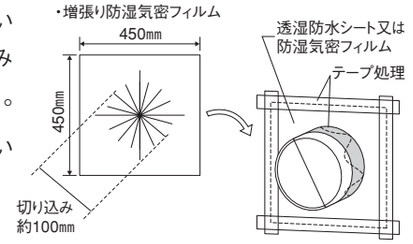
2．壁の仕上がり総厚をよく確認し、パイプの長さを総厚より5㎜ほど短く切断し、その5㎜を内外割り振りするような位置まで、テープや接着剤などでパイプがずれないように固定し、躯体に取り付ける。



気密施工のポイント

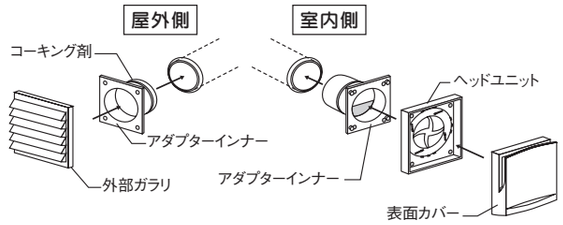
パイプと透湿防水シート、および防湿・気密フィルムの取り合いは図のように450×450㎜程度の増張り防湿シートの中心に切込みを入れパイプに被せ、パイプ廻り、シート四周をテープ処理する。

※高台に面するなど外部風の影響を受けやすい場合、より高い雨仕舞いを行う場合は外部ガラリをフードガラリに変更する

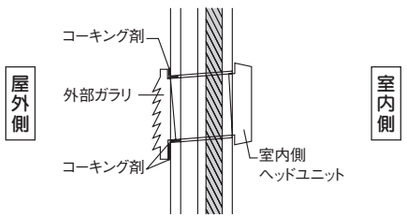


3．室内側のヘッドユニットの取り付けは、表面カバーをヘッドユニットから取り外し、雨返し付アダプターインナーを裏面に取り付けます。

（注）雨返しはパイプ円形の下側に配置されるよう設置してください。また、屋外側外部ガラリの取り付けは、外部ガラリにアダプターインナーを裏面に取り付けます。それをすでに施工されているパイプに挿入します。固定は、あらかじめ作った下地材にビス（市販品）止めで行います。表面カバーを元のように取り付けてください。



4．外部ガラリの周囲をコーキング処理してください。

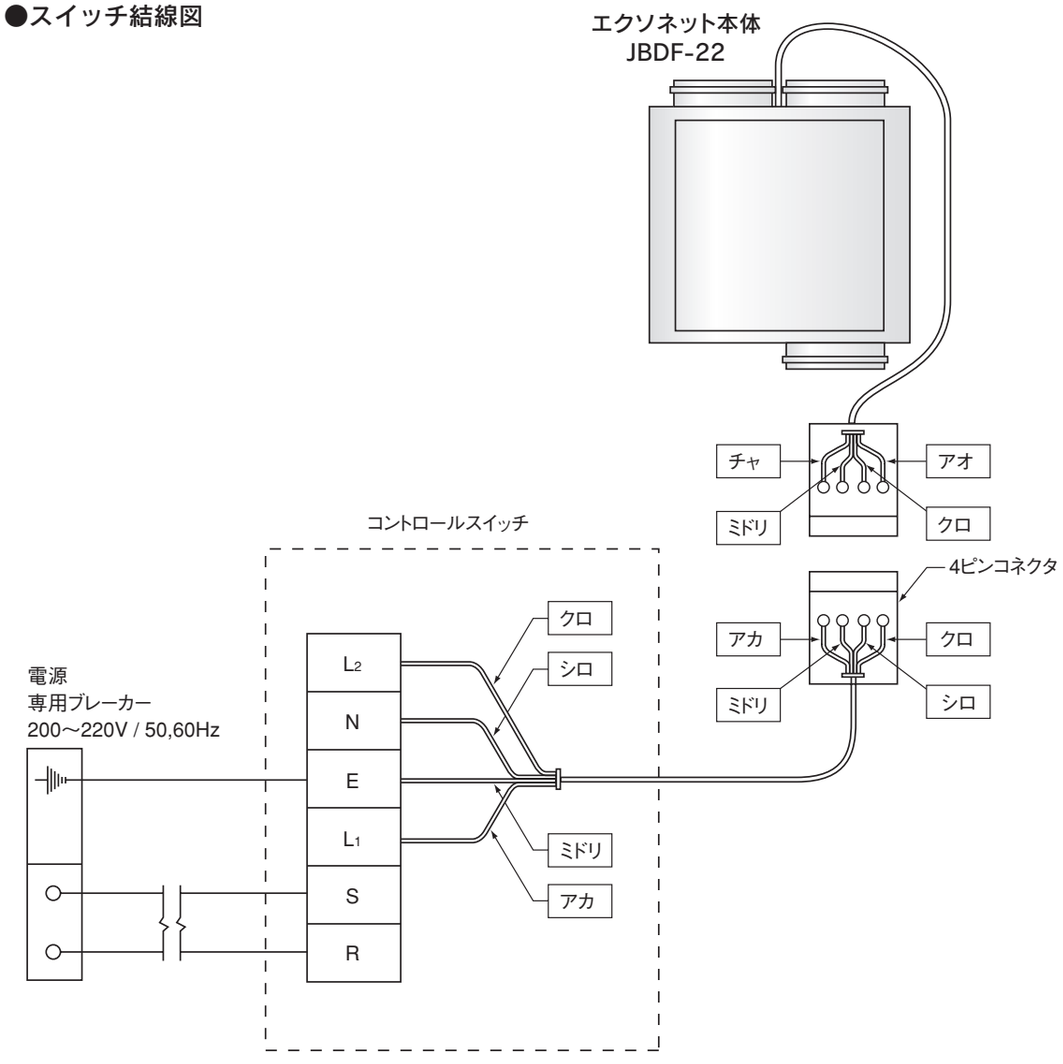


8．コントロールスイッチの結線

・本機のスイッチタイプの場合は、エクソネット本体とスイッチ間は、コネクタ接続です。
　下図のスイッチ配線図と結線図をもとに、必要となる工事を施して下さい。

・**電源は単相交流 200Vで配線を直結し、専用ブレーカーに接続して下さい。**

●スイッチ結線図



※一戸の床面積が100m²を超える集合住宅の場合は、コントロールスイッチと電源の間に、スイッチを設けて下さい。

1．レジスタの調整

●排気レジスタの調整

※設計計算書にある排気レジスタの調整値は、レジスタ表面から円錐円盤状のレジスタコーンの面までの距離を表したものです。

調整方法

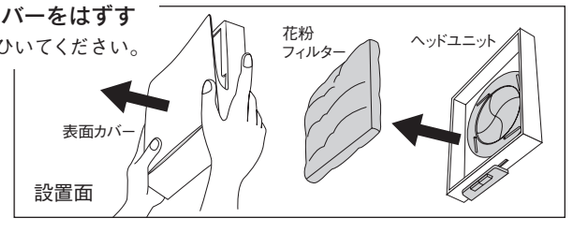
可動部分固定ビスをプラスドライバーで締め、スライドさせて指定値に合わせた後、ビスを締め固定します。

※この時、レジスタコーンの位置がずれたり、斜めになったりしないよう注意深く固定して下さい。

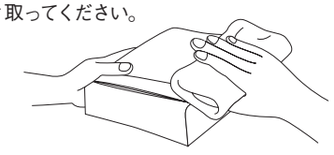
2．お取り扱い方法

●自然給気レジスタRTL98Fのお手入れ

・表面カバーをはずす
手前にひいてください。

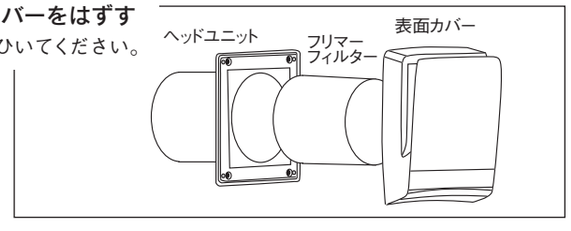


・表面カバーの汚れをとる
水または台所用洗剤に浸した布で汚れを拭き取ってください。



●自然給気レジスタRTL98F-FLIMMERの交換方法

・表面カバーをはずす
手前にひいてください。



●フィルターの交換

・必要に応じて、交換してください。
・交換時期は、使用の状況や周辺環境によって異なります。
・交換時期の目安…（花粉フィルター　1年に1回／フリマーフィルター　2年に1回）
・フィルターのご発注は、フィルター販売サイト http://www.e-filter.jp までご連絡下さい。

3．テスト運転

●テスト運転時に、以下の点を確認して下さい。

1．電源は単相交流 200V に結線されているか。
2．本体とコントロールスイッチのコネクタは、しっかり接続されているか。
3．本体内のファンケースは、所定の位置にしっかり取付いているか。
4．本体内の輸送時のための、固定具および取扱説明書等を取り除いているか。

●テスト運転

・コントロールスイッチのノブを㊀、⊙、㊉と切り替え、ファンのスピードが変わっている事を確認して下さい。
・更に、モーター回転方向の確認と、レジスタからの吸込みの確認をして下さい。

●故障と思う前に

テスト運転を行い、モーターが回転していない場合、下記の事をチェックして下さい。

1．テスターにてコントロールスイッチ部SとRの端子間が200Vなのかを確認。
2．電源を確実に止めて、スイッチ部の配線をチェック。
3．ヒューズ切れがないか確認。
（ヒューズはコントロールスイッチパネルの裏面に設置されています。）